

かなしん景況レポート



三浦半島地域活性化協議会主催
三浦半島「推しミウラ」
フォトコンテスト(横須賀
商工会議所賞受賞作品)
「茅山のハートフルバス
ストップ」

目次

景気動向	地域経済(全業種総合) 業種別経済 特別調査	2 6 18
お客様景況インタビュー	臨港タクシー 株式会社「～だいすきな横須賀とともに～」	19
トピックス	「神奈川県金融経済概況(日本銀行横浜支店:2024年3月)のポイント」 「GX(グリーン・トランスフォーメーション)」	3 9

調査概要

調査時期	令和6年2月19日から令和6年3月6日まで
調査地域	横須賀市・逗子市・三浦市・三浦郡葉山町・鎌倉市・横浜市・川崎市・藤沢市・茅ヶ崎市 大和市・綾瀬市・高座郡寒川町
調査方法	調査員による面接聞き取り方式又は対象企業先による直接記入方式
分析方法	各質問項目で、「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心にして分析を行いました。
回答率	調査先数 当金庫取引先 500先 回答先 472先 回答率 94.4%

全業種総合天気図

	2023年4～6月	2023年7～9月	2023年10～12月	2024年1～3月	2024年4～6月 来期予想
全業種総合					
製造業					
卸売業					
小売業					
サービス業					
建設業					
不動産業					

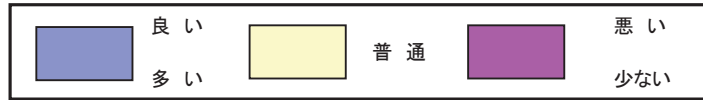
低調 ← 天気図 → 好調

この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。

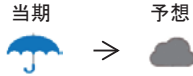
全業種総合

～業況は全業種でマイナス水準となり、特に卸売業が大幅な低下となった～

当期実績(2024年1～3月期実績)
来期予想(2024年4～6月期予想)

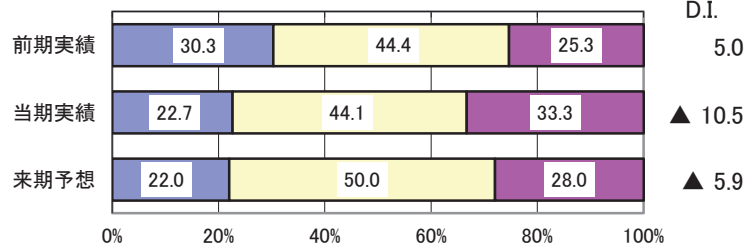


1. 業況

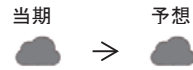


当期の業況判断D. I. は▲10.5と、対前期比15.5ポイントの低下となり、マイナス水準に転じ、前回調査時における今期見通し(1.2)を11.7ポイント下回りました。業種別に見ると、全業種で低下となり、すべての業種がマイナス水準となりました。特に卸売業は40.8ポイントの大幅な低下となりました。来期予想D. I. は▲5.9と、4.6ポイントの改善をする見込みです。

業況

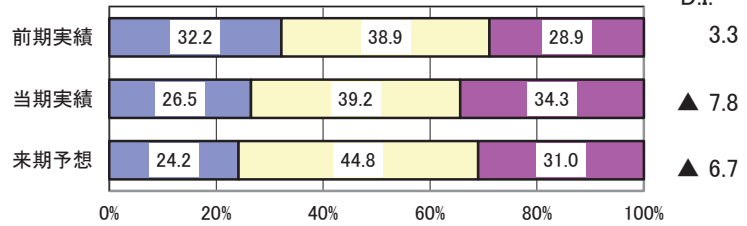


2. 売上額

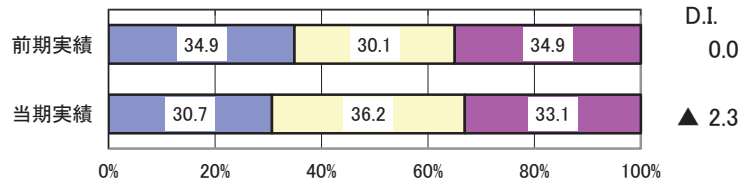


当期の売上額判断D. I. は▲7.8と、対前期比11.1ポイントの低下となり、マイナス水準に転じました。業種別に見ると、サービス業を除き他の5業種は低下となりました。特に卸売業、小売業が大幅な低下となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲2.3と、10～12月期から2.3ポイントの小幅低下となりました。来期予想D. I. は▲6.7と、1.1ポイントの小幅改善をする見込みです。

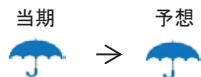
前期比売上額



前年同期比売上額

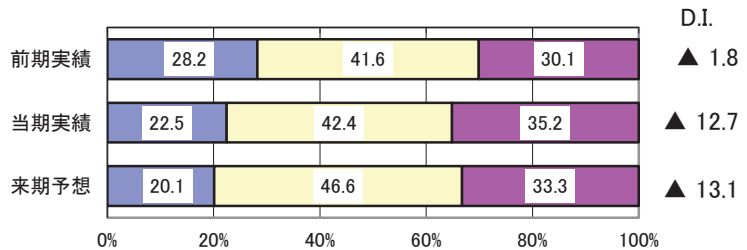


3. 収益

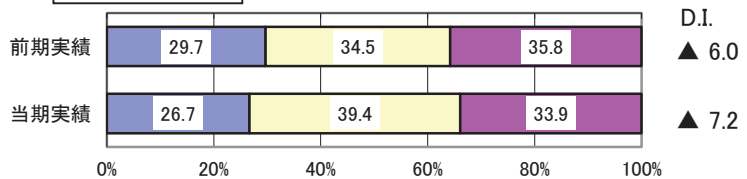


当期の収益判断D. I. は▲12.7と、対前期比10.9ポイントの低下となりました。業種別に見ると、サービス業、建設業は改善し他の4業種は低下となりました。特に小売業は29.8ポイントの大幅な低下となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲7.2と、10～12月期から1.2ポイントの小幅低下となりました。来期予想D. I. は▲13.1と、0.4ポイントの小幅低下をする見込みです。

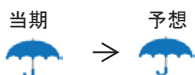
前期比収益



前年同期比収益

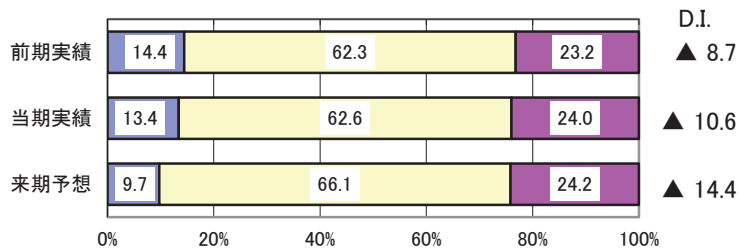


4. 資金繰り



当期の資金繰り判断D. I. は▲10.6と、対前期比1.9ポイントの小幅低下となりました。業種別に見ると、サービス業、不動産業は改善し、他の4業種で低下となりました。特に不動産業は19.4ポイントの大幅な改善となりました。来期予想D. I. は、▲14.4と、3.8ポイントの低下をする見込みです。

資金繰り

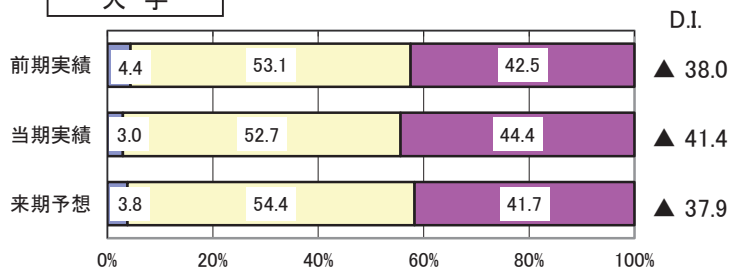


5. 雇用



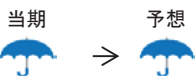
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲41.4と、対前期比3.4ポイントの低下となりました。業種別に見ると、卸売業、小売業、サービス業は改善し、製造業、建設業、不動産業は低下しました。卸売業は改善となりましたが、最も厳しい水準となりました。来期予想D. I. は▲37.9と、人手不足感は緩和する見込みです。

人手



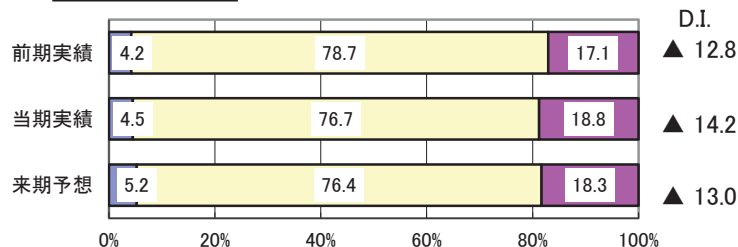
※雇用判断D.I.(過剰-不足) マイナスは人手不足

6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲14.2と、対前期比1.4ポイントの小幅低下となりました。来期予想D. I. は▲13.0と、不足感は小幅に緩和する見込みです。

設備状況



神奈川県金融経済概況(日本銀行横浜支店:2024年3月)のポイント

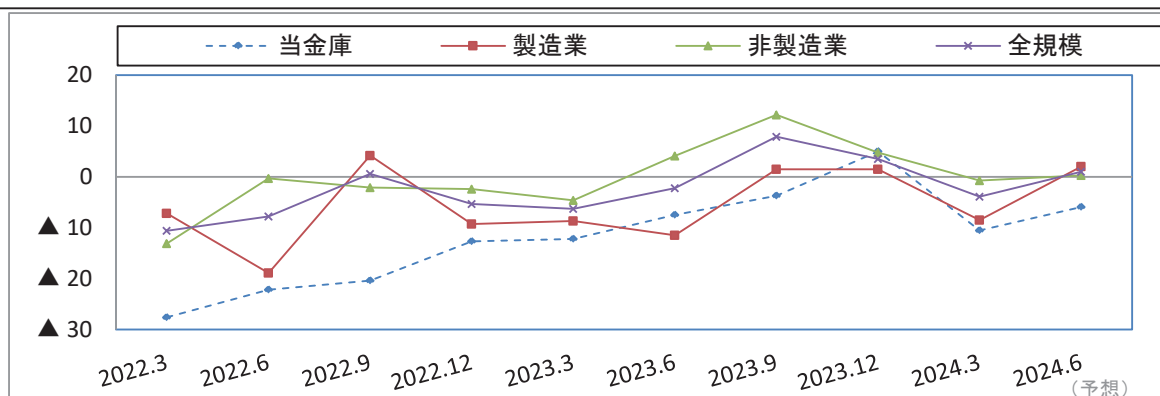
【総括判断】 海外経済の回復ペース鈍化の影響などを受けつつも、緩やかに回復している。
(前回判断据え置き)

【主な個別項目の特記事項】

- 生産：持ち直しの動きが一服している。(前回判断据え置き)
 - ・輸送機械は、回復している。はん用・生産用・業務用機械は、横ばい圏内の動きとなっている。
- 個人消費：一部に弱めの動きもみられるものの、着実に回復している。(前回判断据え置き)
 - ・百貨店販売額は持ち直しており、スーパー販売額は底堅く推移、新車登録台数は回復している。
- 住宅投資：弱めの動きとなっている。(前回判断据え置き)
 - ・2024年1月の新設住宅着工戸数は、分譲マンション、貸家、分譲戸建て、持家がいずれも減少したことから、全体では前年を下回った。

【先行きのリスク要因】 海外経済の一段の減速、コスト高(物価高)等。

法人企業景気予測調査(横浜財務事務所:全規模、製造業、非製造業)、当金庫業況DIの推移



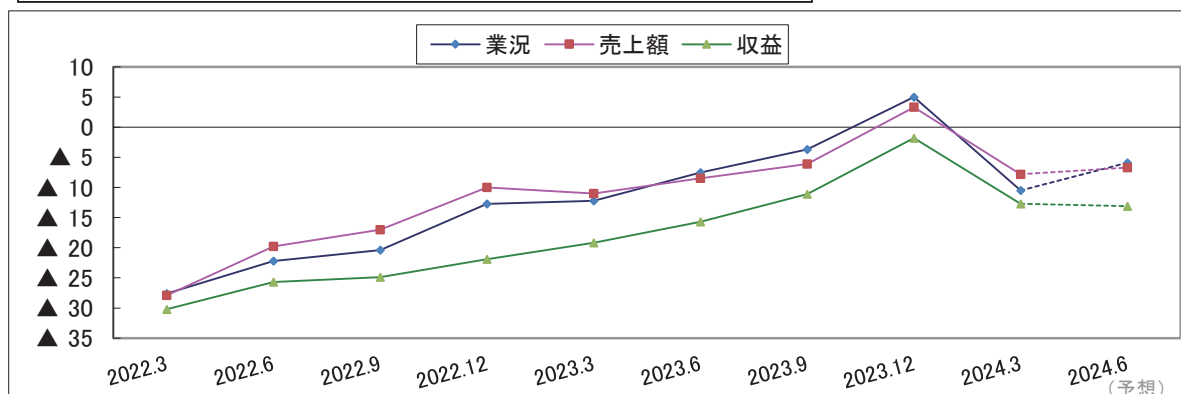
●法人企業景気予測調査 (令和6年1～3月期)

- ・大企業も含めた全規模・全産業の業況判断D. I. は▲3.9と、対前期比7.4ポイント低下しました。自動車会社の認証不正や半導体市況の回復の遅れが響きました。
- ・製造業の業況判断D. I. は▲8.5と、対前期比10.0ポイントの低下となりました。認証不正の影響で自動車産業、電子部品等の在庫調整が長引く情報通信機械器具製造業などの業況が悪化しました。
- ・非製造業の業況判断D. I. は▲0.7と、対前期比5.5ポイント低下しました。物価高による受注減やドライバー不足で運輸業や郵便業の業況が悪化しました。
- ・製造業では情報通信機械器具製造業等が非製造業では卸売業、運輸業、郵便業が低下した主な業種となりました。

●当金庫景気動向調査

- ・全業種の業況判断D. I. は▲10.5と、対前期比15.5ポイントの低下となり、マイナス水準に転じました。来期は▲5.9と4.6ポイント改善する見込みです。製造業と非製造業で集計したところ、製造業は▲14.4と、21.9ポイントの大幅低下、非製造業は▲9.7と14.1ポイントの低下となりました。

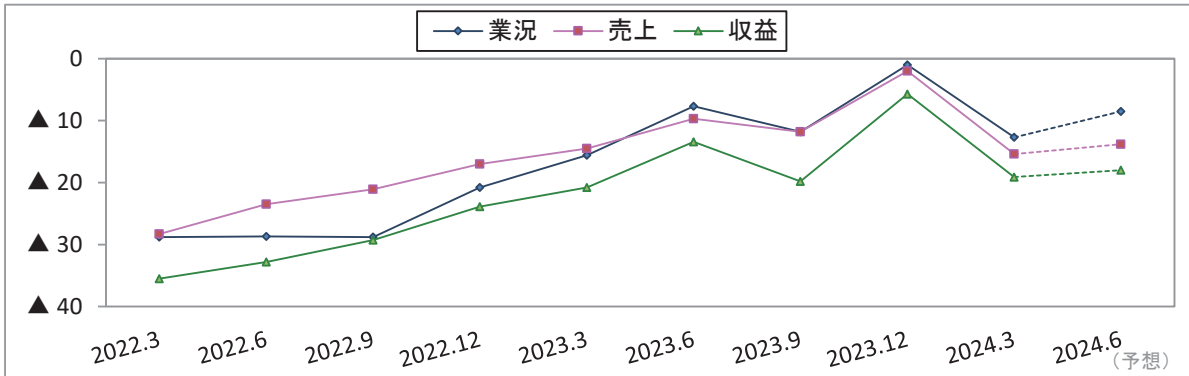
業況・売上額・収益D.I.の推移(全業種総合:当金庫)



2024年1～3月期の業況判断D. I. は▲10.5と、対前期比15.5ポイントの低下となり、前回調査時における今期見通し(1.2)を11.7ポイント下回りました。売上額判断D. I. は▲7.8と、対前期比11.1ポイントの低下となり、マイナス水準に転じました。収益判断D. I. は▲12.7と、対前期比10.9ポイントの低下となりました。「今期はベースアップに加え、材料費の値上げもありそうなので、現時点では営業収益はやや良いが、3月に入り材料費の値上り等が多くなれば、やや苦しくなると思われる」(製造業)、「異業種参入で価格競争になっているので、仕入コストの上昇分を売上価格に転嫁できない」(小売業)等のコメントが寄せられ、今期は全業種で業況の低下が目立ち、人手不足や仕入価格上昇への対応が今後さらに課題となりそうな結果となりました。

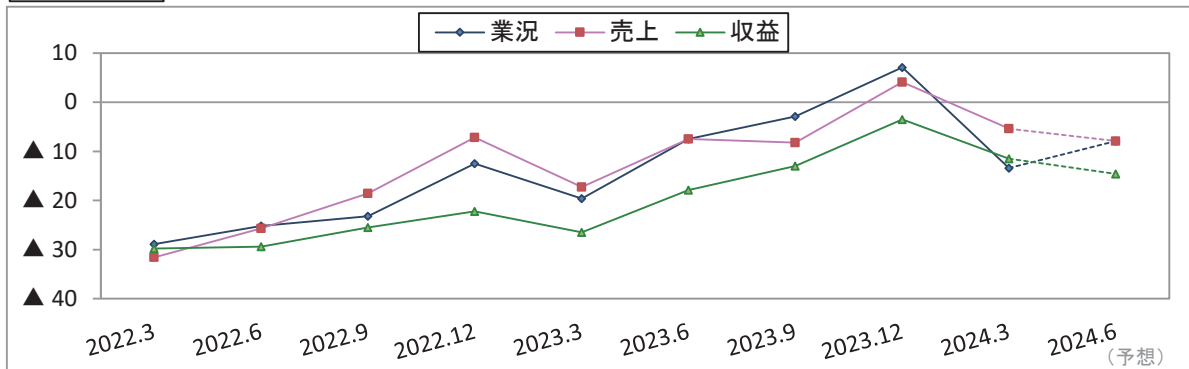
地区別の業況・売上・収益の推移(当金庫)

横須賀地区



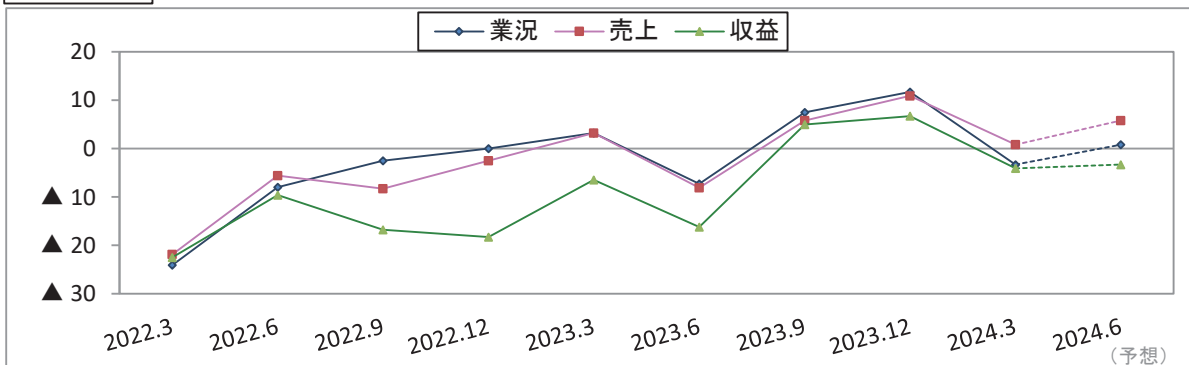
横須賀地区の2024年1～3月期の業況判断D. I. は▲12.7と、11.7ポイントの低下となり、売上収益についても低下となりました。来期予想については、業況判断D. I. は▲8.5と、4.2ポイント改善となり売上、収益についても改善する見込みです。

横浜地区



横浜地区の2024年1～3月期の業況判断D. I. は▲13.4と、対前期比20.5ポイントの大幅低下となり、売上、収益についても低下となりました。来期予想については、業況判断D. I. は▲7.9と、5.5ポイント改善する見込みです。

藤沢地区



藤沢地区の2024年1～3月期の業況判断D. I. は▲3.3と、対前期比▲15.0ポイントの低下となり、売上、収益についても低下となりました。来期予想については、業況判断D. I. は0.8と、4.1ポイント改善となり、売上、収益についても改善する見込みです。

製造業

～業況はマイナス水準に転じ、来期も横ばいの見込み～

当期実績(2024年1～3月期実績)
来期予想(2024年4～6月期予想)

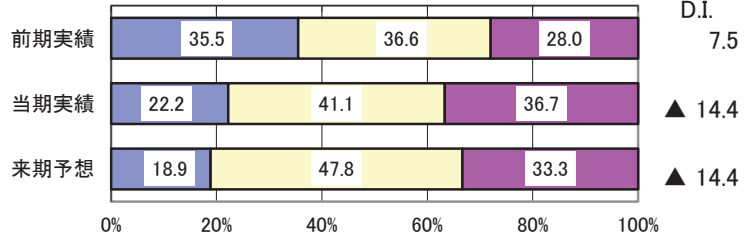


1. 業況

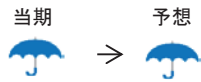


当期の業況判断D. I. は▲14.4と、対前期比21.9ポイントの大幅低下となり、マイナス水準に転じ、前回調査時における今期見通し(▲4.3)を10.1ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は▲14.4と、横ばいとなる見込みです。

業況

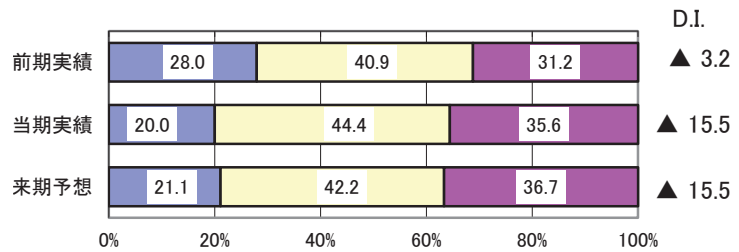


2. 売上額

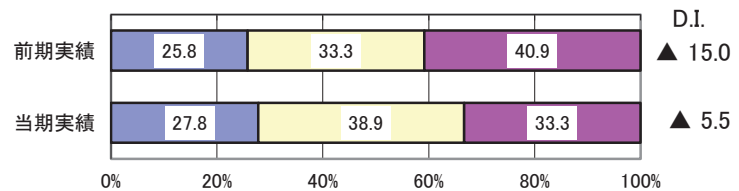


当期の売上額判断D. I. は▲15.5と、対前期比12.3ポイントの低下となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲5.5と、10～12月期から9.5ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲15.5と、横ばいとなる見込みです。

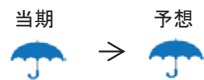
前期比売上額



前年同期比売上額

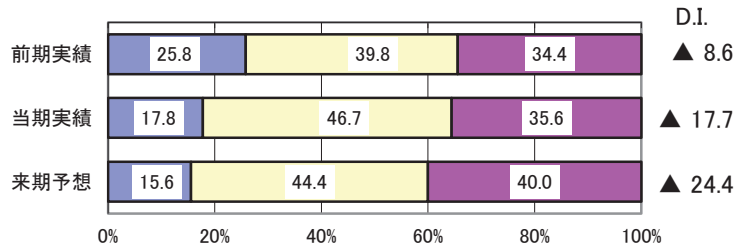


3. 収益

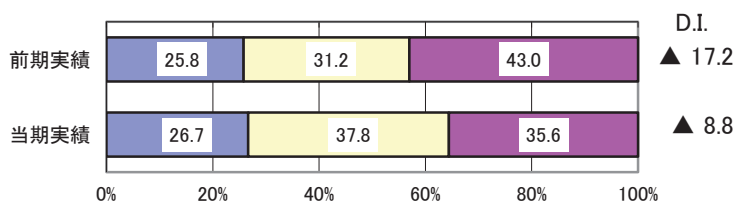


当期の収益判断D. I. は▲17.7と、対前期比9.1ポイントの低下となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲8.8と、10～12月期から8.4ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲24.4と、さらに6.7ポイントの低下をする見込みです。

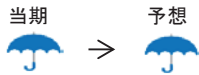
前期比収益



前年同期比収益

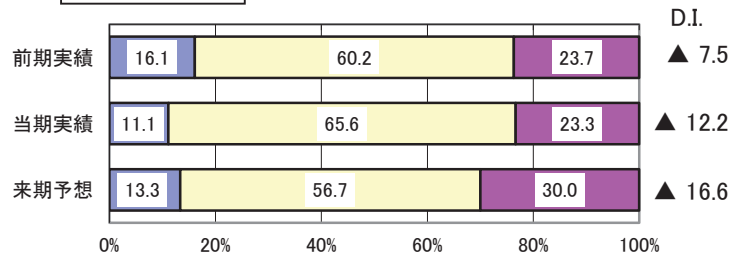


4. 資金繰り



当期の資金繰り判断D. I. は▲12.2と、対前期比4.7ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲16.6と、さらに4.4ポイントの低下をする見込みです。

資金繰り

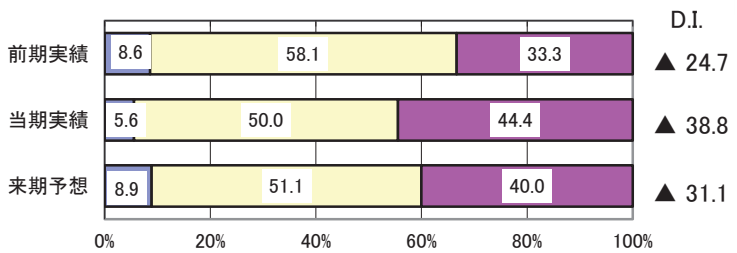


5. 雇用

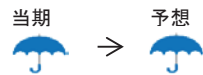


当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲38.8と、対前期比14.1ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲31.1と、人手不足感は緩和する見込みです。

人手

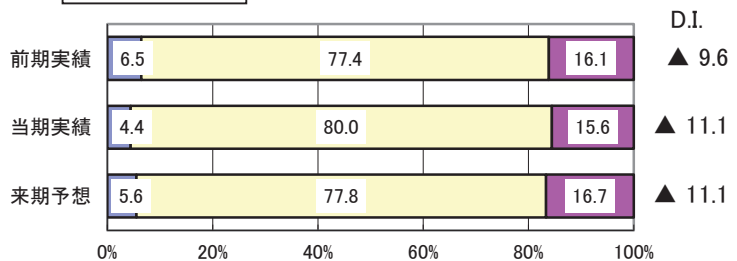


6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲11.1と、対前期比1.5ポイント小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲11.1と、不足感は横ばいとなる見込みです。

設備状況



調査先のコメント

- 今期はベースアップに加え、材料費の値上げもありそうなので、現時点では営業収益はやや良いが、3月に入り材料費の値上り等が多くなれば、やや苦しくなると思われる。
- 昨年末以降、コロナ第一波の時より業況が悪くなっていて、より厳しい景況を実感している。
- 親会社の受注残は多いと発表されているが、当社の生産量は昨年の2~3割減の計画である。
- 年明け以降、受注がやや減少基調である。
- 案件はけっこうあるが、なかなか決まらない状況である。
- 国内用のクレーン車の需要が力強さに欠ける。本格的な生産回復は秋以降の見通し。
- 中国経済の失速による影響が不安であるが、日本市場の株価急伸による景気の拡大を期待しており、大型設備工事が4月以降顕著に現れることを期待している。設備投資により売上が伸びるも経費が増えて利益が伸び悩むことがないよう、原価計算をきちんと行い対処していきたい。
- 能登半島地震の影響で車関連部品の製造が遅延しており、当社受注の部品も一部がストップしている。次期モデルの部品の供給も決定しているが、ここ1~2年が心配である。
- 景気は緩やかに上向いている。
- 大手の製造業は非常に景気が良いようだが、中小の製造業では景気が戻ったとは言い難い状況にある。

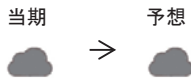
卸売業

～業況、売上額ともに低下幅が最も大きくなり、人手不足感が最も強かった～

当期実績 (2024年1～3月期実績)
来期予想 (2024年4～6月期予想)

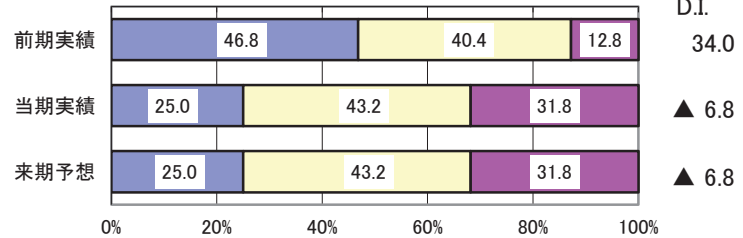


1. 業況

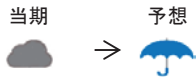


当期の業況判断D. I. は▲6.8と、対前期比40.8ポイントの大幅低下となり、マイナス水準に転じ、最も低下幅が大きな業種となりました。前回調査時における今期見通し (8.5) を15.3ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は▲6.8と、横ばいとなる見込みです。

業況

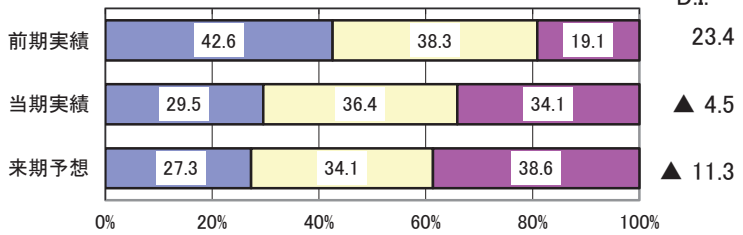


2. 売上額

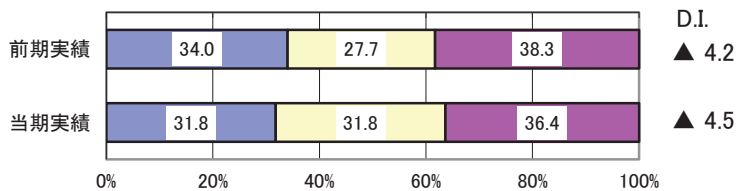


当期の売上額判断D. I. は▲4.5と、対前期比27.9ポイントの大幅低下となり、マイナス水準に転じ、業況同様、最も低下幅の大きな業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲4.5と、10～12月期から0.3ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲11.3と、さらに6.8ポイントの低下をする見込みです。

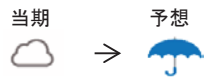
前期比売上額



前年同期比売上額

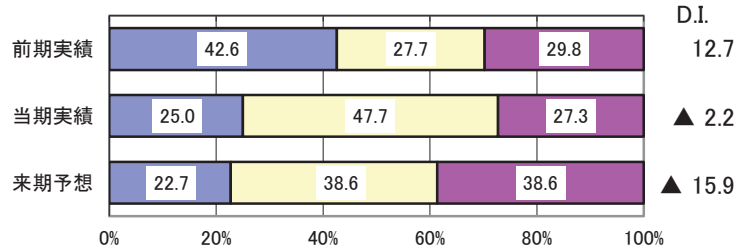


3. 収益

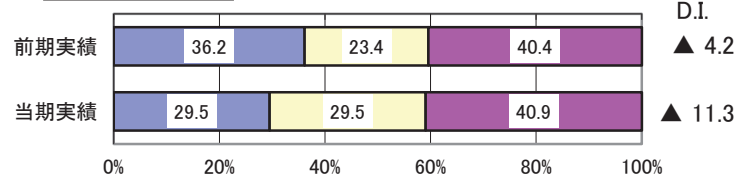


当期の収益判断D. I. は▲2.2と、対前期比14.9ポイントの低下となり、マイナス水準に転じました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲11.3と、10～12月期から7.1ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲15.9と、さらに13.7ポイントの低下をする見込みです。

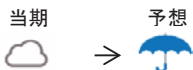
前期比収益



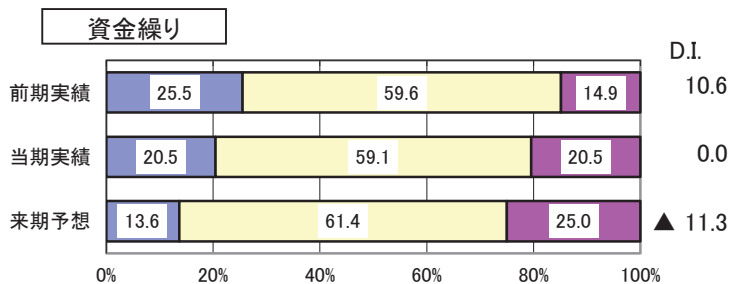
前年同期比収益



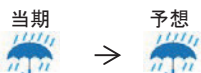
4. 資金繰り



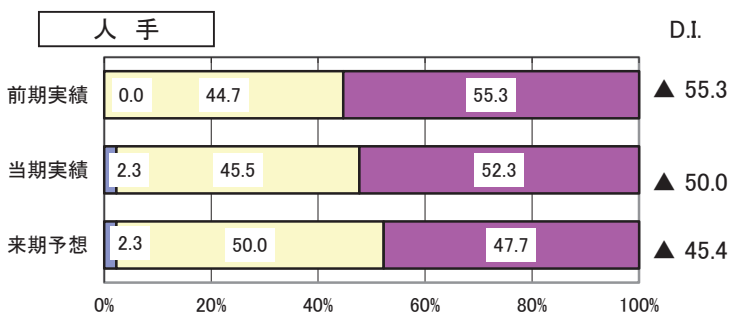
当期の資金繰り判断D. I. は0.0と、対前期比10.6ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲11.3と、さらに11.3ポイントの低下をする見込みです。



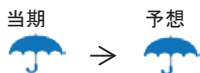
5. 雇用



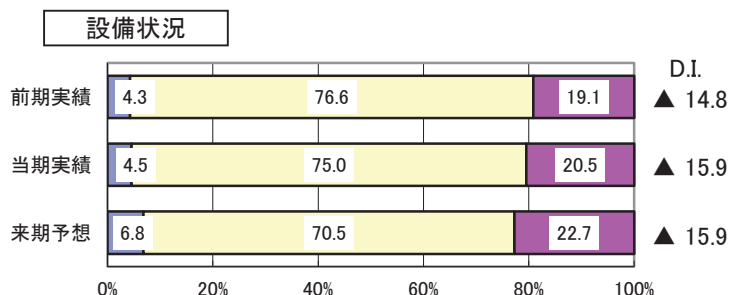
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲50.0と、対前期比5.3ポイントの改善となりましたが、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲45.4と、改善となりますが、厳しい水準が続く見込みです。



6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲15.9と、対前期比1.1ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲15.9と、不足感は横ばいの見込みです。



調査先のコメント

- 最近、2024年問題で配送についてのFAX等が各社より来ている。当日、出荷ができないという連絡が多く、仕入価格の値上りにつながるのではないかと危惧している。
- 業務用商材の復調を感じている。
- 今後の業績見通しが不透明なため、賃上げは困難な状況である。

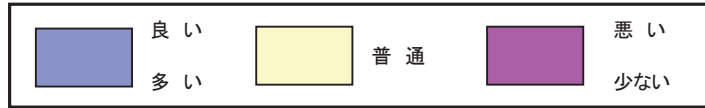
GX(グリーントランスフォーメーション)

GXとはグリーントランスフォーメーション(Green Transformation)の略語で、温室効果ガスを生じる化石燃料から、CO2を排出しない太陽光や水素など自然環境に負荷の少ないエネルギーの活用を進めることで二酸化炭素の排出量を減らそう、また、そうした活動を経済成長の機会にするために世の中全体を変革していこうという取り組みのことです。日本は国として、2050年にカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出量と吸収量を同じにする)を実現することを国際的に約束しており、そのため必要な取り組みが「経済社会システム全体の変革」であるGXです。

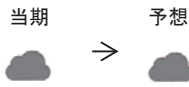
小売業

～収益D.I.の低下幅が最も大きくなった。来期は業況、売上、収益とも改善予想～

当期実績(2024年1～3月期実績)
来期予想(2024年4～6月期予想)

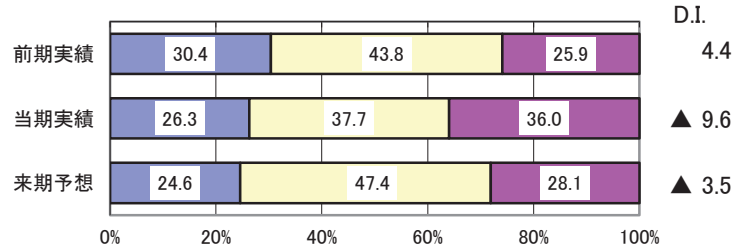


1. 業況

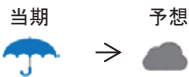


当期の業況判断D. I. は▲9.6と、対前期比14.0ポイントの低下となり、マイナス水準に転じました。前回調査時における今期見通し(2.6)を12.2ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は▲3.5と、6.1ポイントの改善をする見込みです。

業況

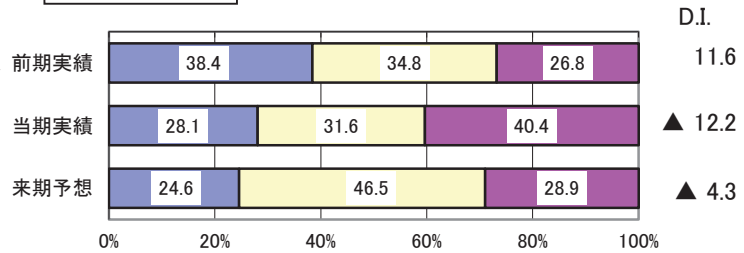


2. 売上額

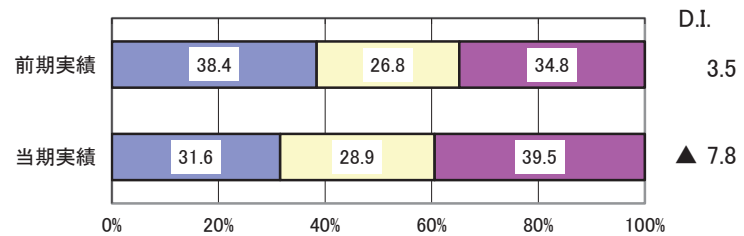


当期の売上額判断D. I. は▲12.2と、対前期比23.8ポイントの大幅な低下となり、マイナス水準に転じました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲7.8と、10～12月期から11.3ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲4.3と、7.9ポイントの改善をする見込みです。

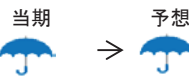
前期比売上額



前年同期比売上額

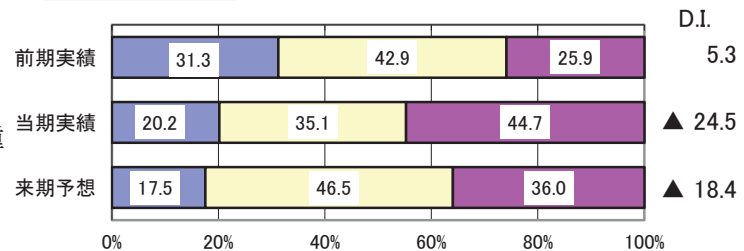


3. 収益

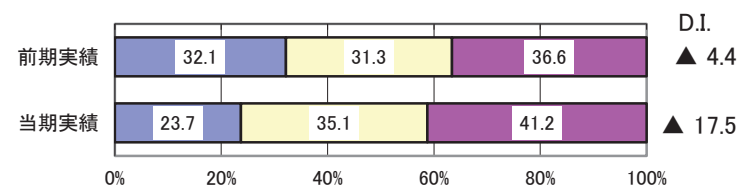


当期の収益判断D. I. は▲24.5と、対前期比29.8ポイントの大幅な低下となり、マイナス水準に転じ、低下幅が最も大きな業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲17.5と、10～12月期から13.1ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲18.4と、6.1ポイントの改善をする見込みです。

前期比収益



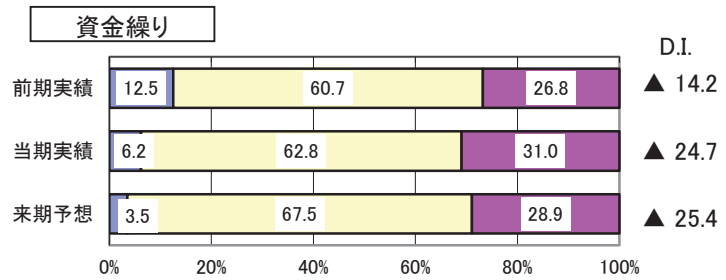
前年同期比収益



4. 資金繰り



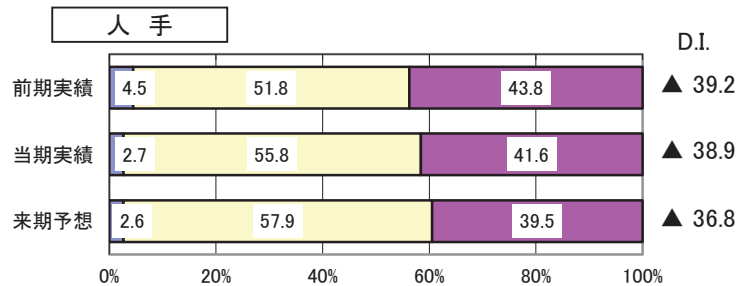
当期の資金繰り判断D. I. は▲24.7と、対前期比10.5ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲25.4と、さらに0.7ポイントの小幅低下をする見込みです。



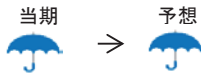
5. 雇用



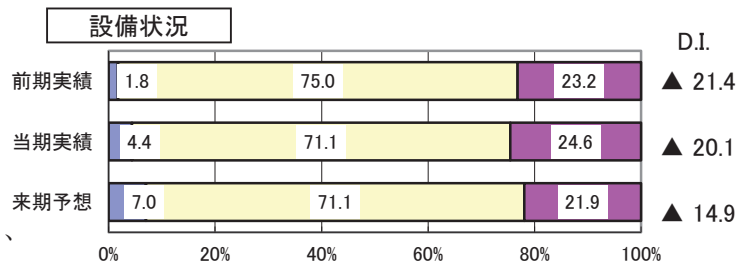
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲38.9と、対前期比0.3ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲36.8と、人手不足感はわずかながら緩和する見込みです。



6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲20.1と、対前期比1.3ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲14.9と、さらに不足感は緩和する見込みです。



調査先のコメント

- 中東情勢が不透明で不安である。
- 異業種参入で価格競争になっているので、仕入コストの上昇分を販売価格に転嫁できない。
- コロナ禍も収まりつつあり、車両の入庫も順調であるが、ビッグモーター等の影響か、受注が減少している。
- 昨年10月に営業権譲渡を受け、売上が伸びた。また、政府の補助金を利用した売上也数件あった。
- 企業の不正が多すぎると感じる。
- プレミアム商品券使用期間以外の各月は客足も減少し、売上および利益も減少した。
- コロナ感染症が5類とされた以降、人流が戻ってきており客数、売上共に7~10%アップしている。
- テレビ、新聞等で戦争、気候変動による各地の災害等、暗いニュースが多く精神面で苦勞する。
- 年明けから週休2日にしたが、今後どう影響するか見極めたい。
- 全般的にインフレと思われ、個人消費が伸び悩んでいる。また、人手不足が続いている。
- 低価格スポット商品の常時多量導入が支持を得たのか、売上が増加してお客様数が増えた。インボイスにより競争が激化して倒産、閉業が増えていると、市場でも囁かれている。
- 材料費等の高騰により販売価格が上がり、消費が落ちていると感じられる。
- 正月~1月前半の人出はカレンダーの並びの関係で少々減少気味だったと思われる。
- 最低賃金の上昇で家族経営でなく従業員が数人いるようなところは、価格転嫁できず厳しくなる一方と思われる。

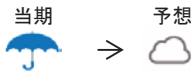
サービス業

～業況は低下したが低下幅が最も小さく、来期は改善幅が最も大きくなる予想～

当期実績 (2024年1～3月期実績)
来期予想 (2024年4～6月期予想)

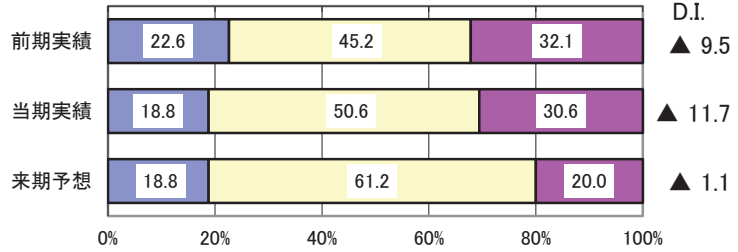


1. 業況

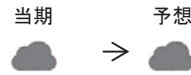


当期の業況判断D. I. は▲11.7と、対前期比2.2ポイントの小幅低下となりました。前回調査時における今期見通し (▲13.0) を1.3ポイント上回りました。来期予想については、D. I. は▲1.1と、10.6ポイント改善し、改善幅が最も大きな業種となる見込みです。

業況

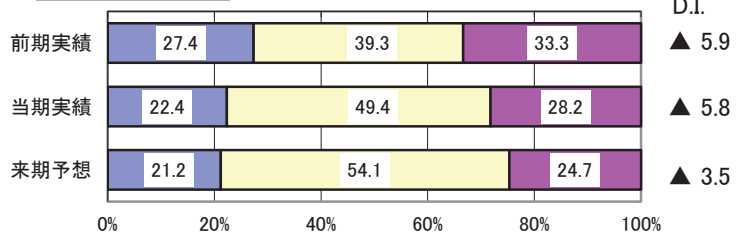


2. 売上額

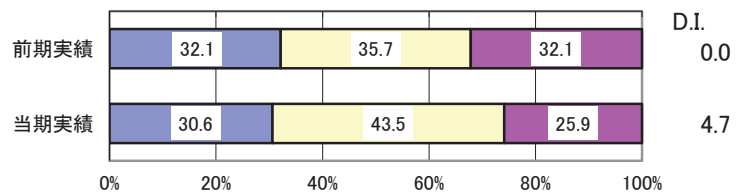


当期の売上額判断D. I. は▲5.8と、対前期比0.1ポイントの小幅改善となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は4.7と、10～12月期から4.7ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲3.5と、さらに2.3ポイントの小幅改善をする見込みです。

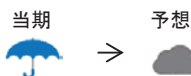
前期比売上額



前年同期比売上額

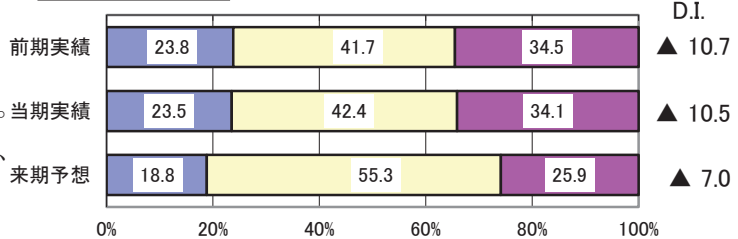


3. 収益

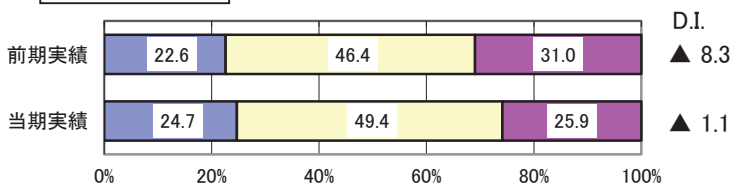


当期の収益判断D. I. は▲10.5と、対前期比0.2ポイントの小幅改善となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は、▲1.1と、10～12月期から7.2ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲7.0と、さらに3.5ポイントの改善をする見込みです。

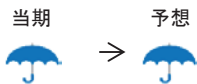
前期比収益



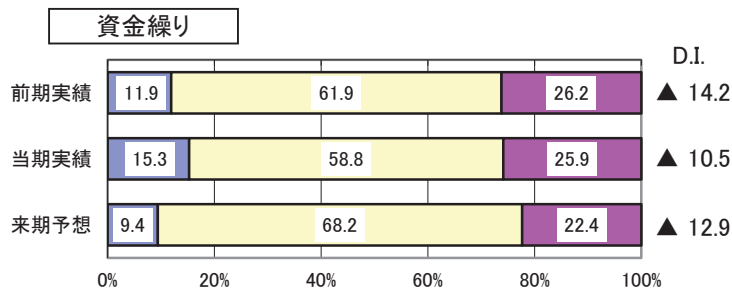
前年同期比収益



4. 資金繰り



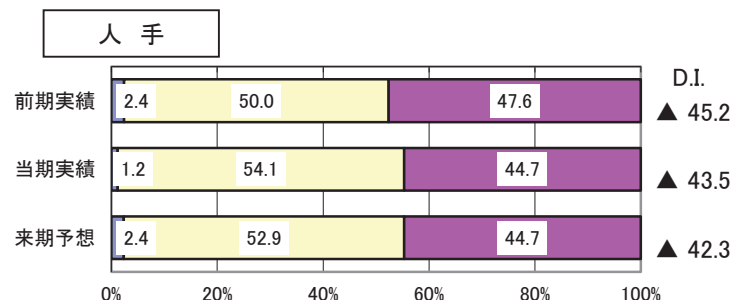
当期の資金繰り判断D. I. は▲10.5と、対前期比3.7ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲12.9と、2.4ポイントの小幅低下となる見込みです。



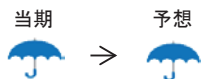
5. 雇用



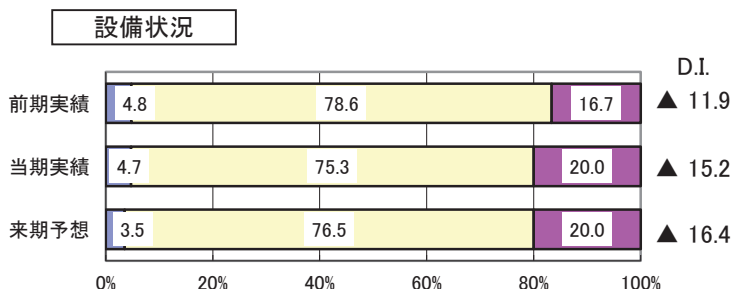
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲43.5と、対前期比1.7ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲42.3と、1.2ポイント小幅改善となりますが、厳しい水準が続く見込みです。



6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲15.2と、対前期比3.3ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲16.4と、さらに1.2ポイントの小幅低下をする見込みです。



調査先のコメント

- 2024年問題を踏まえて、昨年賃金交渉を行い何社かは運賃のアップができたが、まだ標準的運賃には達しておらず、それ以上に経費が嵩む。人材確保のためできるだけ賃金に反映していきたい。
- 賃上げを実施したが、効果あまり出ていない感がある。
- お客様の不動産取引で、金融機関の融資が使われる案件減少している。
- 全体的に売上、収益がやや増加している。
- インバウンドが急に増加していて、半分ぐらいが日本語以外の会話のように感じられる。

建設業

～業況、売上、収益とも低下したが、来期は各指標とも改善を見込んでいる～

当期実績 (2024年1～3月期実績)
来期予想 (2024年4～6月期予想)

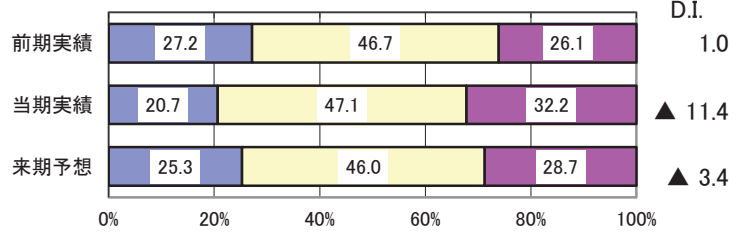


1. 業況

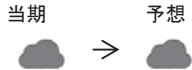


当期の業況判断D. I. は▲11.4と、対前期比12.4ポイントの低下となり、マイナス水準に転じました。前回調査時における今期見通し (3.2) を14.6ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は▲3.4と、8.0ポイントの改善をする見込みです。

業況

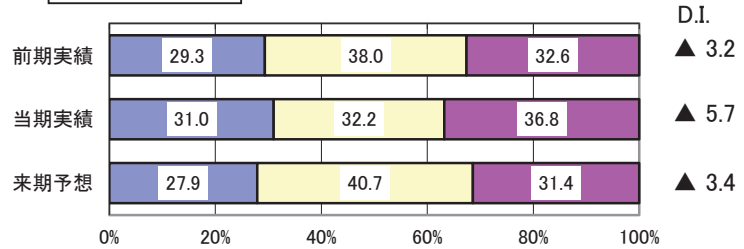


2. 売上額

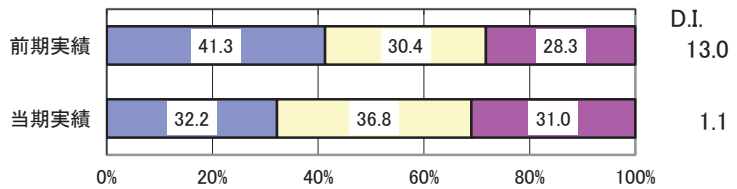


当期の売上額判断D. I. は▲5.7と、対前期比2.5ポイントの小幅低下となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は1.1と、10～12月期から11.9ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲3.4と、2.3ポイントの改善をする見込みです。

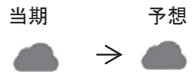
前期比売上額



前年同期比売上額

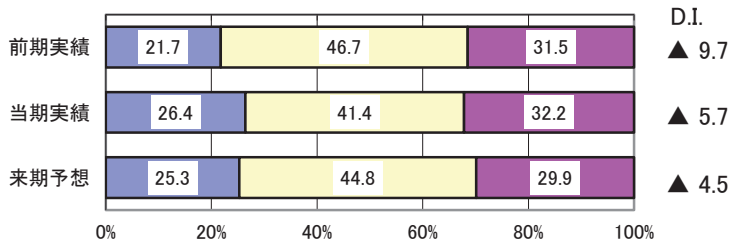


3. 収益

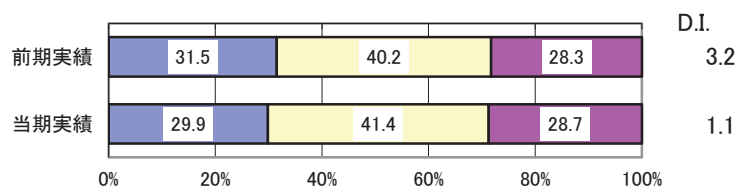


当期の収益判断D. I. は▲5.7と、対前期比4.0ポイントの改善となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は1.1と、10～12月期から2.1ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲4.5と、さらに1.2ポイントの小幅改善をする見込みです。

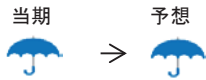
前期比収益



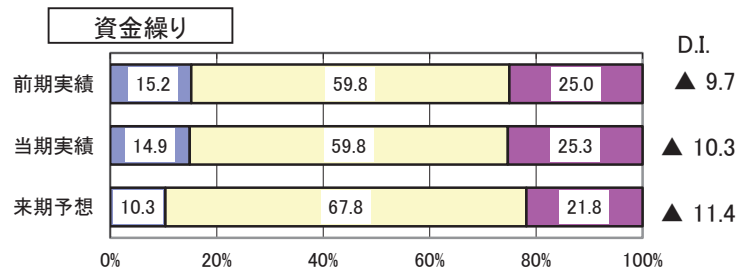
前年同期比収益



4. 資金繰り



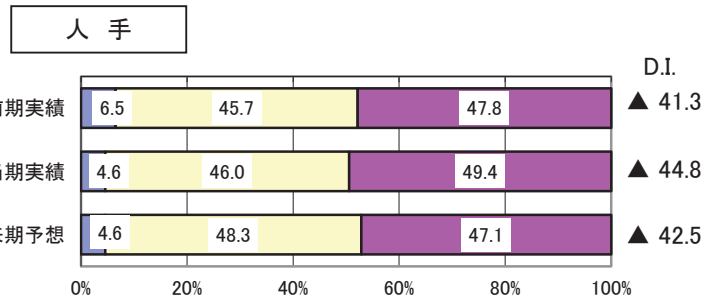
当期の資金繰り判断D. I. は▲10.3と、対前期比0.6ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲11.4と、さらに1.1ポイントの小幅低下をする見込みです。



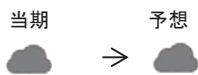
5. 雇用



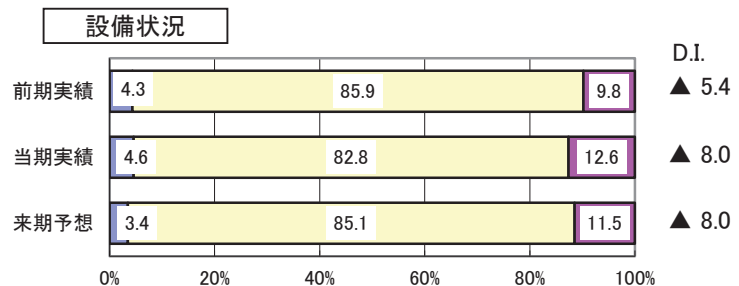
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲44.8と、対前期比3.5ポイントの低下となり、卸売業に次いで厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲42.5と、人手不足感は小幅緩和するものの厳しい水準が続く見込みです。



6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲8.0と、対前期比2.6ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲8.0と、不足感は横ばいの見込みです。



調査先のコメント

- デフレからインフレへの期待が高くなる中で、企業も投資をする傾向が感じられ、当社の受注も上向きとなる見通しであるが、人手不足により捌ききれないという状況もあり、難しい局面が続く見込みである。
- 仕事量は増えているが、人手不足である。
- 株価が上昇しても、中小企業には一部の業種には良くても、全体を見れば日本の経済は良くならないと思われる。
- マンション価格の高騰により販売が鈍ってきた。
- 工事材料の入荷、値上げが不透明で先行きが読めないが、仕事は多い状況である。
- 12月～2月の仕事量が昨年より減少したため、資金繰りが大変である。

不動産業

～業況はマイナス水準であるが最も良い水準となり、売上は唯一プラス水準～

当期実績(2024年1～3月期実績)
来期予想(2024年4～6月期予想)

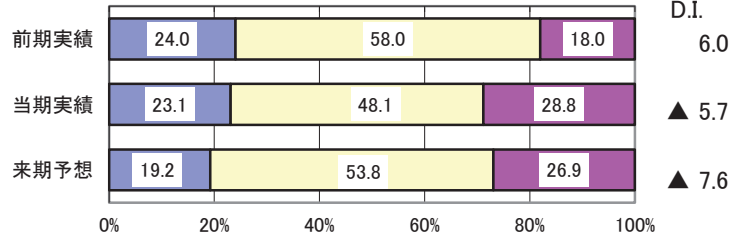


1. 業況

当期 → 予想

当期の業況判断D. I. は▲5.7と、対前期比11.7ポイントの低下で、マイナス水準に転じ、マイナス水準ではあるが最も良い水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(22.0)を27.7ポイントと大幅に下回りました。来期予想についてはD. I. は▲7.6と、さらに1.9ポイントの小幅低下をする見込みです。

業況

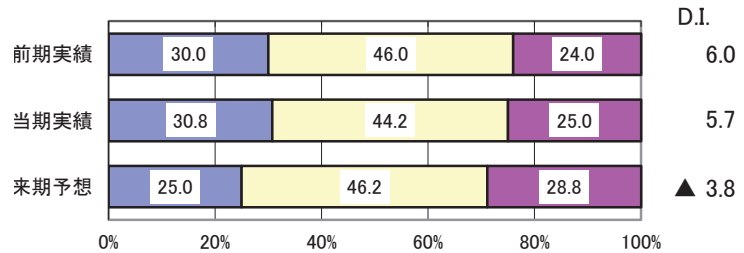


2. 売上額

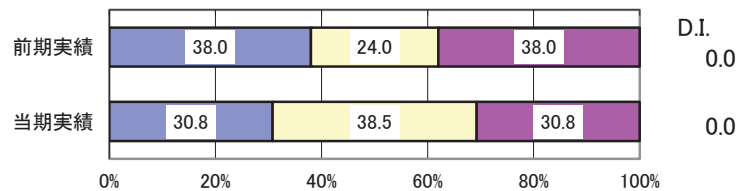
当期 → 予想

当期の売上額判断D. I. は5.7と、対前期比0.3ポイントの小幅低下となりましたが、プラス水準を維持し、最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は、0.0と10～12月期と比較し横ばいとなりました。来期予想については、D. I. は▲3.8と、9.5ポイントの低下となり、マイナス水準に転じる見込みです。

前期比売上額



前年同期比売上額

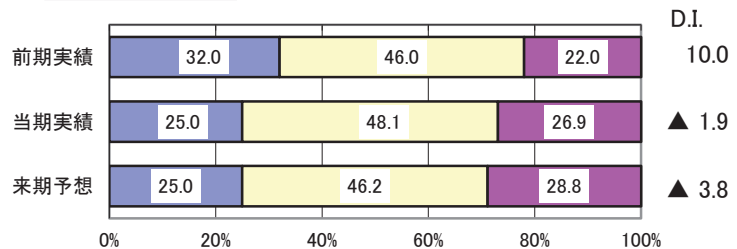


3. 収益

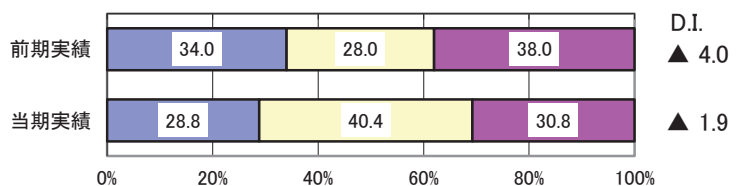
当期 → 予想

当期の収益判断D. I. は▲1.9と、対前期比11.9ポイントの低下となり、マイナス水準に転じました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲1.9と、10～12月期から2.1ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲3.8と、さらに1.9ポイントの小幅低下をする見込みです。

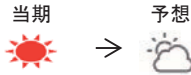
前期比収益



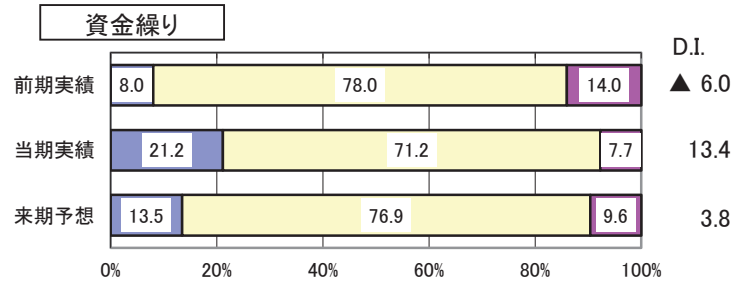
前年同期比収益



4. 資金繰り



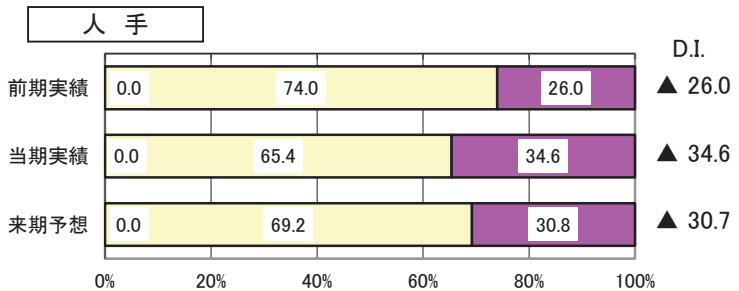
当期の資金繰り判断D. I. は13.4と、対前期比19.4ポイントの改善となり、プラス水準に転じました。来期予想については、D. I. は3.8と、9.6ポイント低下しますが、プラス水準を維持する見込みです。



5. 雇用



当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲34.6と、対前期比8.6ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲30.7と、人手不足感は緩和する見込みです。



調査先のコメント

- 新築建売物件の在庫が大幅に増加しており、各社が販売価格の修正を行っている。立地、環境、物件の特性や仕様の良し悪しによって売れ行きに差が出ている。
- 同業他社では在庫を抱えており、大幅な価格の引下げによる早期売却を図っている。
- 不動産業界においても土地の売買物件は減少しており、中小企業は休業や解散が増加しているように思われる。大手分譲会社は売残り物件を大幅値下げして販売し在庫も少なくなっている。これから価格も物件上昇に合った適正価格に上向いていくと思う。新築よりもリフォーム工事が増加しつつあり、前年より大型リフォーム工事が増加し、売上も15~20%アップすると思われる。
- 物件の購入照会の件数が減ってきている感じがする。

特別調査 ……「中小企業における人材戦略について」

1. 御社では、現在の人材の状況について懸念していることはありますか。

～「若手が不足している」「高齢化が進んでいる」との回答が大多数を占めた～

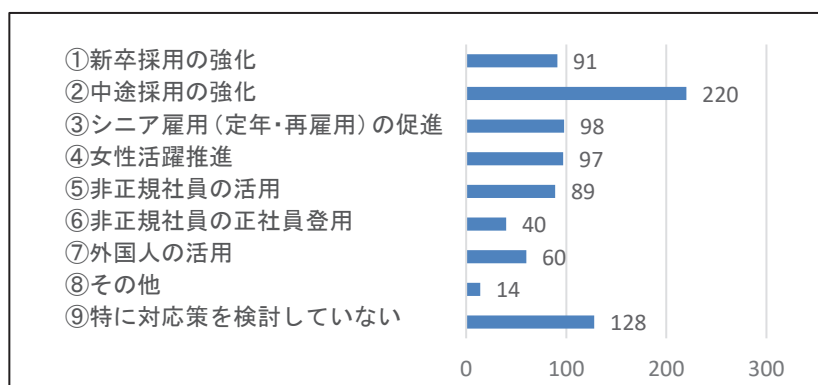
現在の人材の状況で懸念していることについては、「若手が不足している」との回答が242社で最も多く、次いで「高齢化が進んでいる」との回答が234社と多かった。「熟練者が不足している」が92社、「営業で働く従業員が少ない」が73社、「生産、販売現場で働く従業員が少ない」が56社と比較的多い回答となった。一方「懸念していることはない」との回答も77社あった。
(最大3つまで複数回答)

2. 今後の人材に対する対応策について

～中途採用の強化に力を入れている企業が多い～

人材に対する対応策については、②「中途採用の強化」との回答が220社で最も多く、次いで③「シニア雇用(定年・再雇用)の促進」が98社、④「女性活躍推進」が97社、①「新卒採用の強化」が91社、⑤「非正規社員の活用」が89社と比較的多い回答となった。一方、⑨「特に対応策を検討していない」との回答も128社あった。

(最大3つまで複数回答)



3. 人材育成において、職場内での実地の訓練(OJT)以外の取組み状況について

～「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」、「社内研修会や勉強会の実施」との回答が多かった～

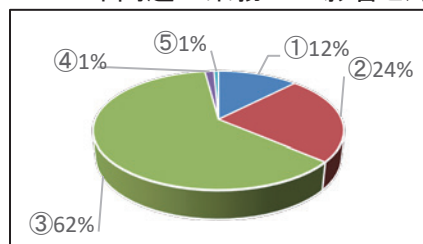
職場内訓練(OJT)以外の取組については、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」との回答が131社で最も多く、次いで「社内研修会や勉強会の実施」との回答が126社と多かった。「業界団体の研修に参加」が85社、「外部セミナーへの参加」が74社と比較的多い回答となった。一方、「特に実施していない」との回答も198社と多かった。

4. 人材定着などに向けた賃金の引上げ実施状況について

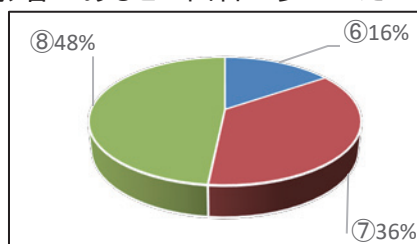
～賃金を引き上げた企業は回答企業のうち239社で、53.6%であった～

賃上げの実施状況、賃上げしない理由については、賃上げをした企業は、回答企業のうち239社で、53.6%の割合であった。「0%～2%未満」が37.2%で最も多く、次いで「2%以上～4%未満」が34.7%と多かった。引上げないと回答した企業は207社で、引上げない理由は「賃上げに見合う価格転嫁ができてない」が28.5%で最も多く、次いで「今後の業績見通しが不透明」が21.3%と多かった。

5. 2024年問題の業務への影響と対応策について ～悪影響があるとの回答が多かった～



- (影響)
- 大きく悪影響がある
 - やや悪影響がある
 - 影響はない・わからない
 - やや好影響がある
 - 大きく好影響がある



- (対応)
- 対応を取った
 - 必要性を感じているが対応していない
 - 対応を取る必要はない

2024年問題の業務への影響と対応策については、③「影響はない・わからない」が62%で最も多く、次いで②「やや悪影響がある」が24%、①「大きく悪影響がある」が12%と多かった。④「やや好影響がある」、⑤「大きく好影響がある」は各1%で少なかった。それに対し「対応を取った」とする企業は16%であった。

臨港タクシー 株式会社

代表者：市川 壽一
本社：横須賀市汐入町 1-7
設立：昭和 27 年 12 月
事業内容：タクシー事業

老舗のタクシー会社として地域を支える臨港タクシー株式会社様の経営者のお話を聞かせて頂きました。



代表取締役 市川 壽一

—営業地域の印象—

当社は横須賀市内が主な営業地域になります。私は生まれも育ちも横須賀であり、本社のある汐入は小さい頃から会社に出入りしていたため地元という意識が強いです。地域に根差した産業の歴史としては、漁業や造船業、米軍関係の仕事が産業の中核を担ってきました。新型コロナウイルスの流行以降は人出が減り、賑わいも薄れてしまいましたが、ここにきて少しずつ人出も戻ってきています。横須賀は海が近く、観光名所や自然も多くあり、東京や横浜にもアクセスが良いことからまだまだ魅力溢れる街だと感じています。タクシー事業を通じ多くの人に横須賀の魅力を発信し、地域の活性化に少しでも貢献していきたいです。

—当社を取り巻く景況感—

運輸業界に限らないと思いますが、人手不足により業務に悪循環が生じていると感じます。新型コロナウイルスの流行以降、終電や終バス後に利用するお客様の減少に伴い、当社ドライバーも高齢化が進んでいることから、朝まで働けるドライバーが減少し深夜帯は人手が不足しています。ドライバーがいなければお客様の帰宅時間もより早まってしまいます。しかし、最近では、タクシー

～だいすきな横須賀とともに～

アプリによる配車サービスを利用するお客様も多いため、いつでもお役に立てるよう 24 時間対応できる体制を整えています。

—近時の燃料費等高騰についての見解—

ウクライナやパレスチナの情勢がいずれ落ち着き、その後どうなっていくかが重要だと考えています。それまでは高止まりの状態が続くと思います。タクシーは LP ガスを使用しており、サウジアラビアからの輸入が多くなっています。供給不足や価格の変動等なかなか安定しませんが、当社ではバリアフリーに特化したジャパンタクシーを導入しています。燃料は LPG と電気モーターのハイブリッドとなっており、コストを抑えることができます。また配車サービスは、走らせながらお客様を探す営業スタイルに比べ、燃料の節約に努めることができます。



ユニバーサルデザインのジャパンタクシー

—今後の見通しと目標—

5 年～10 年は少子高齢化により人手不足という状況が続くと思います。その後は外国人の採用や若いパート社員等の働き口をどれだけ増やせるかではないでしょうか。後継者問題等により合併等も増えてくると思いますが、横須賀に根差した企業がこれからも多くあり続けて欲しいです。

当社は今後、お客様が快適に過ごせるジャパンタクシーを増やしていきます。また、観光面にも引き続き注力していきたいと思っています。これまで横須賀市観光協会とタイアップし、キャラクターラッピングタクシーの導入を行いオリジナルキャラクターと一緒に横須賀を観光できるサービスを提供してきました。これからも色々な形で横須賀の魅力を発信し、地域のお客様を支えていきたいと思っています。

かなしん よろず相談承り処 にご相談ください!

かなしん よろず相談承り処は、かながわ信用金庫が運営する「なんでもご相談窓口」です。



かながわ信用金庫 かなしん よろず相談承り処 場所：横須賀市大滝町2丁目21番地（三ツビル商店街内）
フリーダイヤル：0120-0468-01（受付時間 10：00～19：00） 営業時間：10：00～19：00（12月31日、1月1、2、3日を除く）

《かなしん よろず相談承り処について》

- ◎平日夜まで、土日も開いています。
 - ・平日・土日ともに19時まで、各種ローンや資産運用、創業や事業承継等の幅広いご相談を承ります。また、金融商品以外の相談もお待ちしています。昼間はお仕事などでお忙しい方も、夕方や土日にご相談いただけます。
 - ◎専門家による個別相談を開催します。
 - ・税理士などによる個別相談を定期的に開催しています。お客さまのプライバシーに配慮した専用ブースもご用意していますので、安心してご相談ください。
 - ◎セミナーを開催しています。
 - ・2階のセミナールームでは、暮らしやライフプラン、事業経営、健康など様々なテーマのセミナーを開催しています。セミナーのお知らせは、随時ホームページにてご案内します。
 - ◎サロンスペースをご用意しています。
 - ・1階には、皆さまにおくつろぎいただけるサロンスペースをご用意しています。
- ※ 駐車場は、市役所前公園の地下駐車場をご利用ください。窓口にて駐車チケットをお渡しします。

本レポートは、情報提供のみを目的とした標記時点における当金庫の考え方を示したものです。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。また、この資料は、当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

発行 かながわ信用金庫
住所 〒238-0004 横須賀市小川町7番地
TEL 046-826-1515(平日9:00～17:00)
編集 株式会社 かなしんトータルサービス
住所 〒235-0023 横浜市磯子区森1丁目10番10号
TEL 045-263-6363(平日9:00～17:00)

かながわ信用金庫
かなしん